



功労者表彰式開催(2018年度受賞)

2019年6月28日(金)、功労者表彰式(2018年度受賞)がベルサール新宿グランドにて開催されました。表彰式は、加盟団体代表委員の皆様のご出席のもと、盛大に執り行われました。

授賞者皆様の長年のバレーボール界におけるご活躍に感謝申し上げますとともに、その素晴らしいご功績をお知らせ申し上げます。

【表彰授賞者一覧】（以下敬称略）

表彰名	受賞者名	推薦団体
功労者Ⅰ	成田明彦	公益財団法人日本バレーボール協会
	水谷孝義	愛知県バレーボール協会
	高橋昌也	一般社団法人日本ビーチバレーボール連盟
特別功労者	岩本洋	公益財団法人日本バレーボール協会
功労者Ⅱ	大村暢彦	北海道バレーボール協会
	大宮彰	一般社団法人山形県バレーボール協会
	新沼喜久子	宮城県バレーボール協会
	菊池洋勝	福島県バレーボール協会
	藍原壯介	茨城県バレーボール協会
	荻原馨	群馬県バレーボール協会
	生瀬良造	公益財団法人東京都バレーボール協会
	柳宏	山梨県バレーボール協会
	青木隆昌	一般社団法人静岡県バレーボール協会
	廣瀬眞弓	岐阜県バレーボール協会
	梶本一孝	滋賀県バレーボール協会
	岩間博	京都府バレーボール協会
	山崎芳明	京都府バレーボール協会
	上野博美	奈良県バレーボール協会
	岸本強	島根県バレーボール協会
	烏田彰弘	島根県バレーボール協会
	青山信夫	一般財団法人広島県バレーボール協会
	片山宏志	徳島県バレーボール協会
	甲斐文一	宮崎県バレーボール協会
	翁長良成	沖縄県バレーボール協会

■表彰授賞者の集合写真



後列(左から):翁長良成、梶本一孝、片山宏志、岸本強、岩間博、甲斐文一、青木隆昌、大村暢彦、菊池洋勝
前列(左から):山崎芳明、上野博美、(岩本伸子)、成田明彦、(小縣徹男)、高橋昌也、荻原馨、藍原壯介
※敬称略、()は代理出席者の方

■JVA 会長・副会長と推薦団体を交えての集合写真



【授賞者のご紹介】

功労者 I 表彰

○成田明彦（なりた あきひこ） / （公財）日本バレーボール協会推薦

【授賞理由】

高い見識と優れた手腕により、長年にわたり日本バレーボール協会の運営リーダーとしてバレーボールの普及発展に携わり、その活動の幅は国際、総務、強化、国内事業と多岐に亘りました。大学での教鞭と指導者の傍ら、各種委員会を兼務されメンバーを牽引する委員長や事業本部長としての重責を果たし、各活動の推進に大変尽力されました。その多大なる功績が認められ、JVA 組織の中心的存在として運営の一翼を担う執行役員常務や専務に就任し、公益法人に移行後は執行側を監督する評議員会議長を務められました。まさに、バレーボール協会の歴史と共に歩まれました。

○水谷孝義（みずたに たかよし） / 愛知県バレーボール協会推薦

【授賞理由】

1984年に国際審判員候補として、FIVB主催の「インターナショナル・レフェリーコース」を受講し、1991年から国際審判員として活動されました。愛知県バレーボール協会では審判委員長を1993年から3期6年、副会長2017年から1期2年務められました。一方、日本バレーボール協会では、国際審判員としての活動だけではなく、1995年より24年間に亘り審判規則委員会の部員として活動されました。その中でも、2001年より審判規則委員会規則部部長、国内事業審判委員会委員および委員長を歴任し、国内の審判員の育成及び審判技術の向上を目指す教育活動を熱心に取り組み、国内の各種全国大会での審判講習会で講師として活躍されました。全国各地で開催されるVリーグ大会でも精力的にジュリーの任務を果たし、国内の審判員育成に貢献されたその功績は多大なるものと言えます。2018年福井国体開催地にての突然のご逝去は、バレーボール界にとって大きな損失であり、惜別の念を禁じ得ません。

○高橋昌也（たかはし まさや） / （一社）日本ビーチバレーボール連盟推薦

【授賞理由】

都立高校の教員着任と同時にバレーボールの指導者となり、都高体連女子部の常任委員に就任し、日本バレーボール協会では総務及び競技委員会委員として活躍されました。競技関係では、ビーチバレーボール競技の競技委員長として、国民体育大会の参加チーム数や競技方法の基礎を構築し、ビーチバレーボールの普及・発展に尽力されました。また、ビーチバレーボール連盟の強化担当として、19年間に亘りユース・ジュニアの強化や選手育成に携わり、ユースオリンピック5位・アジア選手権大会優勝と輝かしい実績を積み上げました。都高体連においても女子高校生のビーチバレーボールを指導され、マドンナカップでは、優勝6回・準優勝2回・3位入賞を2回という成績を収めるだけではなく、正式種目となった国体においても、成年女子が2年連続3位に入賞するなど、指導者としての輝かしい功績も残されております。

特別功労者表彰

○岩本洋（いわもと ひろし） / (公財)日本バレーボール協会推薦

【授賞理由】

全日本女子バレーボールチーム監督、アトランタオリンピックビーチバレーボール女子監督として日本のトップ選手の強化・育成にその手腕を発揮されました。

その後の活躍の場も多岐にわたり、ソフトバレーボール連盟の要職を担う傍ら、バレーボールにおける国内競技人口の拡大・普及活動にも献身的に携わり、ご逝去される直前まで、その豊富な知識と経験を活かし、ビーチバレーボール強化委員長としてビーチバレーボール競技の実力の底上げに全身全霊でその職責を果たされました。人望も非常に厚く、多くの方から絶大なる信頼を寄せられており、今後も更なる活躍を期待されていた中でのご逝去は、誠に残念であり、残された数々の貢献に対し感謝の意を表します。バレーボール界の多大なる功績を評価し、特別功労者として表彰させていただきます。

功労者Ⅱ表彰

○大村暢彦（おおむら まさひこ） / 北海道バレーボール協会推薦

【授賞理由】

上級審判員並びに上級判定員として道内外の各種大会で活躍されるとともに、指導普及委員として北海道協会の常任理事、理事を20年間務め、北海道内のバレーボール普及・発展や底辺の拡大など各般に亘り活躍されました。ワールドカップ女子大会等の国際大会及び国内大会では競技運営の要として貢献されたほか、判定員の育成などにも献身的に尽力されました。

また、道内中学生をはじめとする子ども達の育成と発掘に力を注ぎ、現在もなお、北海道指導普及委員会中学校指導副部長として活躍されています。

○大宮彰（おおみや あきら） / (一社)山形県バレーボール協会推薦

【授賞理由】

高い識見と指導力を発揮し、競技の健全な普及と振興に努め、本協会の中心的な存在として、選手育成と競技人口の拡大に貢献されました。また、県バレーボール協会の理事長として一般社団法人化に尽力され、組織体制の整備及び財政基盤の強化等に大きな功績を残されました。

山形県バレーボール協会をはじめ東北バレーボール協会の要職に就き、生涯スポーツの普及・振興と競技力向上に真摯に取り組む姿勢は、他の模範となるものがあります。特に（公財）日本体育協会（現日本スポーツ協会）の有資格者養成には熱意をもってあたり、「指導員」「上級指導員」の有資格者数の大幅な増員を図るとともに、「コーチ」「上級コーチ」の資格取得の促進に向けての指導にも当たられました。

○新沼喜久子（にいぬま きくこ） / 宮城県バレーボール協会推薦

【授賞理由】

宮城県バレーボール協会では理事・常任理事等の役員として尽力される傍ら、ママさんバレーボール連盟の理事長・会長として連盟の運営や選手への指導などを通して県内におけるバレーボールの普及・発展に大きく貢献されました。また、各種バレーボール大会やワールドカップ、世界選手権を始め各種国際大会の運営においても主要役員として活躍するだけでなく、ママさんバレーボール連盟の会員を運営スタッフとして多く派遣するなど、長年、宮城県バレーボールの生涯スポーツ推進に寄与されました。

また、宮城県ママさんバレーボール連盟の会長として、県内で開催された全国ママさんバレーボール大会等において中心的な役割を担い、県内ママさんバレーボールの競技普及・選手育成そして指導にも注力されております。

○菊池洋勝（きくち ひろかつ） / 福島県バレーボール協会推薦

【授賞理由】

福島県バレーボール協会の役員として27年間、福島県のバレーボールの普及・発展のために、数多くの大会及び講習会等の企画運営に携わりました。また、福島県いわき市バレーボール協会の理事長時代には、地域の強化大会として、1年に3回開催される「いわきサンシャインカップ」の創設や、バボキャラと連携して、毎年バレーボール講習会を実施するなど、地域のバレーボール普及と発展に大きく貢献されました。指導歴としては、42年間、バレーボールの指導者兼監督として、多くの生徒たちにバレーボールを指導されました。多くの県大会で優勝または上位に入賞し、全国大会や東北大会への出場を果たすなど、輝かしい実績を残されました。

○藍原壯介（あいはら そうすけ） / 茨城県バレーボール協会推薦

【授賞理由】

長年に亘り茨城県協会の理事・副理事長・常任理事の要職に就かれ、特に2016年4月からは県内で開催されたVリーグ大会において会場責任者という運営の中心的立場として職責を全うし、観客の集客活動にも積極的に携わりました。

また、少年団のバレーボール教室等を企画し、地道な普及活動を継続していくことにより、地域の活性化を図るだけでなく、バレーボール競技者の拡大と青少年の選手育成に多大なる貢献をされました。2019年茨城国体に向け、選手強化支援や役員の育成に努め、運営基盤の確立にあたるなど、茨城県バレーボール協会の発展に尽力されました。

○荻原馨（おぎわら かおる） / 群馬県バレーボール協会推薦

【授賞理由】

9人制実業団チームの競技技術向上を図るため、企業からの協力を得ながら、日本実業団バレーボール連盟の上位チームを招いての赤城カップ大会の開催成功のために奔走されました。現在も男女大会として継続実施しています。1979年に群馬県バレーボール協会の理事に就任後、副理事長、審判委員長の要職を歴任され、1983年あかぎ国体では9人制女子チームのチーム力の向上と強化に力を発揮されました。競技ルールやハンドリング基準などの指導も率先して行い、県協会の9人制審判員技術の向上や各種行事・Vリーグ・全国大会・関東大会などの運営に積極的に携わり、県協会の発展に寄与されました。

現在も県協会の常任理事・指導普及委員として活躍されており、全国大会13回、関東大会490回の派遣審判員としての活躍は、審判員の模範となっています。

○生瀬良造（なませ りょうぞう） / （公財）東京都バレーボール協会推薦

【授賞理由】

青山学院大学を卒業と同時に同大学の女子バレーボール部の監督に就任され、50 数年間という長きに亘り、大学女子バレーの指導者として競技普及と強化に貢献され、現在も現役で活躍されています。この期間に、同大学を全日本バレーボール大学女子選手権大会で優勝を5回、準優勝を3回と輝かしい成績に導き、日本バレーボール協会においても、2007年から2009年に全日本ユニバーシアド女子監督として国際大会に参加され、5位・7位に入賞しています。全日本バレーボール大学選抜東西対抗東軍監督としても3年連続優勝するなど、指導者としての手腕を遺憾なく発揮されています。

○柳 宏（やなぎ ひろし） / 山梨県バレーボール協会推薦

【授賞理由】

都留文科大学バレーボール部部長に就任以来、現在も学生の指導に当たるとともに、教え子に多くの指導者を輩出し、本県のみならずバレーボール競技の普及発展に貢献してきました。こうした中で、山梨県大学バレーボール連盟の設立に自ら取り組み、その中心的な役割を担うべく初代会長として、これまで率先垂範され、連盟発展の礎を築かれ、現在も会長として重責を担っています。特に連盟設立時に開催された春・秋季リーグ戦は、現在も継承され、近年は関東大学リーグにおいても本県勢の活躍が注目されるなどチーム強化にも尽力しています。また、県内高校上位チームとの練習試合等を取り入れるなど、県内優秀選手の育成強化にも積極的に取り組むとともに、本県国体選抜チームに大学生を登用するなど斬新な考え方のもと、連盟間の融和を図り競技力の向上に寄与しています。

○青木隆昌（あおき たかまさ） / （一社）静岡県バレーボール協会推薦

【授賞理由】

1994年第1回Vリーグ静岡大会から会場主任として設営関係に携わり、2005年第12回Vリーグから2017年第23回Vリーグ静岡大会まで会場責任者を歴任され、Vリーグの事は、何でも把握していただいております。1996年より静岡県バレーボール協会が導入した個人登録料実行委員会に参加し、実行力・行動力を発揮しスムーズな導入に努力されました。県バレーボール協会の役員選考委員長に3回就かれ、人材発掘等に努めることで、活動しやすい役員体制を確立し、また役員の育成にもあたりました。県バレーボール協会副理事長を6期12年勤め、理事長をサポートし、現在は、副会長として会長をサポートする役割を務めながらも、継続して役員が働きやすい協会づくりに尽力されています。

○廣瀬眞弓（ひろせ まゆみ） / 岐阜県バレーボール協会推薦

【授賞理由】

長年にわたり、岐阜県バレーボール協会の理事、常任理事として本県バレーボールの普及・発展に多大なる貢献をされています。特に、岐阜県ママさんバレーボール連盟の理事長として各支部・地域におけるママさん組織の充実を図り、県内大会や東海大会の運営を円滑に統括して頂いています。2015年からは、全国ママさんバレーボール連盟の主要役員にも就かれ、東海ブロック理事の後、現在では常任理事としてご尽力されています。2017年3月に岐阜県で開催しました「第28回全国家庭婦人バレーボールいそじ大会」では、大会委員長として企画運営の中心となり、大会を成功裏に終わらせました。

○相本一孝（すぎもと かずたか） / 滋賀県バレーボール協会推薦

【授賞理由】

長年にわたり、中学連・クラブ連の審判委員や委員長として、本県バレーボール競技の普及発展・組織の活性化に手腕を発揮されました。自らも率先垂範して公式判定員などの資格取得に努め、Vプレミア大会や全国大会でその技術力を発揮し、大会運営への貢献は勿論のこと、次世代の審判養成に尽力され、その成果は今も審判員・関係役員の中で継承されています。クラブ連盟では、主要役員を担い、県協会との連携を図ることで、協会組織の充実に寄与されました。何処にも属さないバレー愛好者の方々をまとめ上げ、「草の根バレー」の普及に貢献し、県内に広くバレーボールの輪を広げました。

特にクラブチームづくりのノウハウは、これからのスポーツ界に不可欠であり、積上げられた功績は更なる協会運営活性化に役立つものと確信しています。役員として自己研鑽しながら前向きに取り組んできた姿勢は、後輩役員達の模範であり信頼も厚く、これらの功績や人間性は素晴らしいものがあります。

○岩間博（いわま ひろし） / 京都府バレーボール協会推薦

【授賞理由】

京都府高体連バレーボール専門部常任委員・副委員長・委員長を歴任し、組織の運営・充実に尽力されました。また、全国高体連バレーボール専門部常任委員、近畿高体連バレーボール専門部常任委員・委員長として大会の運営統括をはじめ、他府県専門部との連携構築に努力され、高校生世代の指導普及・強化にも努められました。長年に亘り、京都府高体連バレーボール専門部の要職を歴任され、また近畿・全国高体連バレーボール専門部の要職も務められ、組織運営・役員育成に卓越した指導力を発揮されるとともに、他府県専門部との連携強化・協力体制の構築に尽力された功績は高く評価されます。

○山崎芳明（やまさき よしあき） / 京都府バレーボール協会推薦

【授賞理由】

長年にわたり、京都府実業団バレーボール連盟の理事・常任理事・副理事長・理事長の要職を歴任され、組織運営・役員の育成に卓越した指導力を発揮されました。また、日本バレーボール協会のA級審判員としても数多くの大会で活躍され、後進の育成にも努められました。京都府バレーボール協会においても長年に亘り要職を歴任され、理事・常任理事・副理事長としてバレーボール競技の普及・振興に貢献されるとともに、協会の充実・発展に尽力された功績は極めて大きく、現在も評議員として組織の運営・育成に寄与されています。

○上野博美（うえの ひろみ） / 奈良県バレーボール協会推薦

【授賞理由】

長年にわたり、奈良県バレーボール協会の要職を歴任され、県協会発展のために多大なる功績を残されました。日本バレーボール協会の指導普及委員会公認講師として、奈良県のみならず、近畿・全国の指導者育成に努力されました。指導者としての手腕も発揮され、インターハイ10回連続出場を含め、国体・春高出場等輝かしい実績を残されました。A級審判員としても、数多くの大会で活躍されました。昨年度までは、県協会会長として事業運営等に関わり、信頼も厚く協会役員の模範として率先して大会運営や県協会発展のために尽力されました。

○岸本強（きしもと つよし） / 島根県バレーボール協会推薦

【授賞理由】

島根県バレーボールの普及発展に多大なる貢献をされ、島根県バレーボール界の土台をつくられてきました。選手時代には第1回、第2回全日本バレーボールクラブカップ6人制男子選手権大会でセッターとして優勝するなど輝かしい実績を残されました。また、県協会の理事、副理事長、理事長を歴任し、在任中には強化育成、指導普及を目指した島根県独自の「Vプロジェクト」の企画から発展にまで尽力され、島根県全体のバレーボールの底上げに貢献されました。指導者としては学連の諸大会において短期大学部であるにもかかわらず、中四国大会や中国リーグで上位入賞を果たすなどの輝かしい指導実績をもち、多くの優れたバレーボールプレーヤーを輩出されました。現在も県協会の顧問や短期大学副学長として協会運営に対しての的確な助言や教育的なアドバイスをされるなど、多方面にわたり活躍されています。

○烏田彰弘（からすだ あきひろ） / 島根県バレーボール協会推薦

【授賞理由】

島根県バレーボールの普及発展に多大なる貢献をされ、島根県バレーボール界の土台を長年にわたりつくられてきました。選手時代には全日本実業団9人制男子選手権大会、全日本クラブカップ9人制大会で、優勝するなど輝かしい実績を残されました。また、県協会の理事、副理事長を歴任し、在任中にはクラブ実連の強化育成、指導普及に尽力されました。Vリーグや実業団大会開催の際には先頭に立って大会運営をスムーズなものとするための舵をとり、多くの大会を成功に導かれました。現在はマスターズの監督で指導者として尽力されており、また県協会の副会長として協会運営に対しての的確な助言や教育的なアドバイスをされるなど、多方面にわたり活躍されています。

○青山信夫（あおやま のぶお） / (一財)広島県バレーボール協会推薦

【授賞理由】

広島県バレーボール協会の競技委員長・特別事業委員長として長年にわたり協会の発展に力を注がれました。世界選手権及びワールドカップなどの国際大会や国内トップリーグの広島開催には開催地責任者として大会運営を取り仕切り、大きく貢献されました。選手時代は、専売広島（現JTサンダース）のエースとして宮崎国体・滋賀国体での優勝などに貢献されました。全日本候補にも選ばれるほどの高い技術と培った経験は、その後の広島銀行女子バレーボール部の監督として指導するにあたり、多いに活かされました。現在も監事として事業運営を公平・公正の観点から監督し、広島県バレーボール協会の発展に寄与しています。

○片山宏志（かたやま ひろし） / 徳島県バレーボール協会推薦

【授賞理由】

長年、中学校バレーボールの指導に携わり、情熱的でわかりやすい指導で多くの女子選手の育成に励んできました。さらに、国体においても長年スタッフとしてチームを支える責務を全うし、通算10年にわたり徳島県中学選抜男女チームの監督をされました。このような活動が徳島県バレーボールの普及・強化に大きく貢献したことに対して、多くの協会員が感謝しています。バレーボールに対する熱意は冷めることなく、現在もバレーボール教室の指導や大会にも足を運び、大会の手助けをしています。徳島県協会の常務理事を36年、理事を4年務め、徳島県バレーボール界の発展に対する功績が認められ、その証として徳島県バレーボール協会及び徳島県体育協会から功労者表彰を授与されています。

○甲斐文一（かい ふみかず） / 宮崎県バレーボール協会推薦

【授賞理由】

1980年に宮崎県バレーボール協会の理事に就任し、強化委員長を5年、指導普及委員長を4年、競技委員長を4年、審判委員長を4年間務め、長きにわたり協会を支え、バレー界の発展に尽力してこられました。1997年から8年間は副理事長を務め、2005年から4期8年間理事長で活躍されました。理事長時代には、初の地方都市開催となる天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会ファイナルラウンドの舵取りをして、成功へと導きました。現在は、宮崎県協会の副会長として尽力されています。

○翁長良成（おなが よしなり） / 沖縄県バレーボール協会推薦

【授賞理由】

1977年に沖縄県バレーボール協会の理事に就任して以降、副会長を3期、会長を2期務めるなど、40年に亘り本会の諸事業の運営や発展に大きく貢献されました。2011年より2017年まで(公財)沖縄県体育協会副会長ならびに沖縄県スポーツ指導者協議会会長を務め、沖縄県スポーツ界全体の発展に寄与するとともに、その立場から本会の諸事業を力強く支えていただきました。なかでも、2013年より就任した公益財団法人日本体育協会理事の在任中に、JVA主催の全国ヴェンテージ 8 's バレーボール交流大会の日本体育協会後援認定の獲得に尽力されたことが、特筆すべき功績です。

以上

発行人：公益財団法人日本バレーボール協会 業務執行理事 事務局長 鍛冶良則
電話：03-5786-2100 FAX:03-5786-2109 E-mail：generalaffairs@jva.or.jp